

令和5年9月4日

国土交通省関東地方整備局
横浜港湾空港技術調査事務所

第14回 横浜技調技術交流会の開催について

関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所では、港湾空港分野の技術力をより高める取り組みとして、外部の方々から様々な新しい技術を5件発表いただき、参加者との意見交換を行う技術交流会を開催します。

1. 日時：令和5年9月28日（木）14時00分～17時00分（受付は13時30分より）
2. 開催方法：対面とオンラインのハイブリッド形式（Microsoft Teams 配信による）
*オンライン参加される方には、招待 URL を発表日の前日までにメールにてお知らせします。
3. 開催場所：横浜港湾空港技術調査事務所 多目的プラザ
（神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-1-4）
4. プログラムおよび発表テーマ：「別紙1」および「別紙1-1」のとおり
5. 参加費：無料
6. 参加申し込み：事前申込制 / 令和5年9月15日（金）まで
「別紙3」申込用紙に記載の上、事務局宛へメールにて送付してください。
なお、会場の都合およびWEB会議システムの都合上、参加者枠に限りがありますので、参加者は先着順（会場30名/オンライン100名を予定）とさせていただきます。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・その他専門誌

<問い合わせ先>

関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所

電話：045-461-3893 / メール：cyouasa-y83ab@mlit.go.jp

調査課長 原田 勉・調査課 新山 真利

第14回 横浜技調技術交流会プログラム

別紙1

日時 令和5年9月28日（木） 14:00～17:00

場所 横浜港湾空港技術調査事務所 多目的プラザ（ダイバシティ1階交流室）およびオンライン形式（Microsoft Teams）

プログラム

No.	時間	テーマ	発表者
	14:00 - 14:10	開会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所
1	14:10 - 14:40	防災情報プラットフォーム構築から全国版サイバーポート防災情報サブシステムへのステップアップ	一般財団法人 沿岸技術研究センター
2	14:40 - 15:10	Safie Viewer（セーフィービューアー）	セーフィー株式会社
	15:10 - 15:20	休憩（10分間）	
3	15:20 - 15:50	地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」 (NETIS登録番号 CBK-210001-A)	徳倉建設株式会社
4	15:50 - 16:20	硬質地盤クリア工法（フライホイール式パイルオーガ） (NETIS 登録番号：KT-220224-A)	株式会社技研製作所
5	16:20 - 16:50	コンクリートブロック上に形成された藻場のCO2吸収量の算定方法	株式会社不動テトラ
	16:50 - 17:00	閉会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所

第14回 横浜技調技術交流会発表テーマ一覧

番号	テーマ	概要	発表者
1	防災情報プラットフォーム構築から全国版サイバーポート防災情報サブシステムへのステップアップ	本発表は、港湾等を対象とした関東地方整備局港湾空港部の防災情報プラットフォームによる災害情報のDX化(情報収集、情報共有・可視化、業務支援による効率性向上)を行うことにより、災害への迅速な対応、港湾機能の早期復旧を支援する同システムを説明するとともに、防災情報プラットフォームをコアとするサイバーポート(インフラ分野)防災情報サブシステム構築に着手したことを報告するものである。	一般財団法人 沿岸技術研究センター
2	Safie Viewer(セーフイービューアー)	Safie Viewer(セーフイービューアー)は、Safie Pocket2 Plus(セーフイーポケット2プラス/遠隔臨場や災害時対応に活躍するウェアラブルカメラ)、Safie GO(セーフイーゴー/180度の画角で、建設現場の進捗を俯瞰的に把握する定点カメラ)、Safie GO PTZ(セーフイーゴー ピーティーゼット/左右上下の画角移動と光学ズームで現場状況を詳細に確認する定点カメラ)、Safie Connect(セーフイーコネクト/ドローンカメラ映像をリアルタイム映像伝送し、リアルタイム映像確認を可能にするルータ)などを統括管理し、全ての映像や音声をクラウドに録画する技術です。 リアルタイム映像の写真撮影や任意の期間での簡単映像切り出し、一部のカメラでは通話が可能、複数人映像シェア機能による詳細権限設定やGPS(一部カメラのみ)情報と紐づいた多台数管理など、現場の要望を反映し、進化し続けている建設DXに寄与できる技術です。 災害などの緊急対応、複数エリアでの迅速な現場管理、受注者や様々な別組織との情報共有が必要な業務において、効率的かつ高セキュリティな現場管理の実現をサポートします。	セーフイー株式会社
3	地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」 (NETIS登録番号 CBK-210001-A)	建設発生土のリサイクル技術であるLSS流動化処理土は、埋戻・充填材として地下空間、路面下空洞、廃止管の閉塞等に多く利用されています。 流動化処理土の打設時に、充填範囲外への流出を防止するのが「ジュウテンバッグ工法」です。	徳倉建設株式会社
4	硬質地盤クリア工法(フライホイール式パイルオーガ) (NETIS 登録番号:KT-220224-A)	○硬質地盤クリア工法について 砂礫・玉石層や転石・岩盤層などの硬質地盤※1でも杭や矢板を圧入できるよう、オーガ掘削と圧入を連動させることで貫入抵抗力を低減する、独自の「芯抜き理論」を実用化した貫入技術です。圧入機と一体制御のオーガ装置「パイルオーガ」により杭先端の直下地盤を掘削し、パイルオーガを引き抜きながら隙間を埋めるように杭を圧入します。泥岩、砂岩、花崗岩などの軟岩Ⅰ、軟岩Ⅱ、中硬岩に分類される岩盤への圧入が可能な同技術は「硬質地盤クリア工法」として実用化されています。 ※1 硬質地盤とは、玉石混りの砂礫層や岩盤層を含む地盤の総称で、N値では50以上が目安となります。 ○フライホイール式パイルオーガについて フライホイール式パイルオーガは、独自のフライホイール機構を採用することにより、回転の慣性モーメントによる高い慣性トルクを発揮し、従来型パイルオーガでは施工困難だったN値(地盤の硬さ)600以上の超硬質地盤に対しても安定的でスピーディーな掘削を可能にします。硬質地盤の適用範囲を大きく広げられるほか、事前の地質調査で確認されていない想定外の転石等に当たっても確実に急速に施工できます。	株式会社技研製作所
5	コンクリートブロック上に形成された藻場のCO2吸収量の算定方法	カーボンニュートラル達成の1施策として、ブルーカーボンの増加は有効な手段である。防波堤等に設置される消波ブロックや被覆ブロックにはその場の環境に応じた海藻が着生し、藻場が形成される。ブロックが海中に設置されたとき、海藻の着生面が複雑な形状となることがあるが、その形状を考慮して海藻着生量が試算された事例はない。そこで、ブロックの形状や設置方法による海藻着生量およびCO2吸収量の算定方法を提案する。	株式会社不動テトラ

- 当技術交流会は、土木学会の CPD プログラムおよび（一社）全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラムの認定を受ける予定です。

事前に申請して頂いた方のみ単位／ユニット数をお渡し致します。

土木学会 継続学習（CPD）制度プログラムの留意点	一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラムの留意点
付与単位数：2.5 単位	付与ユニット数：3 ユニット
会場にて参加される方は、受講後に「受講証明書」をお渡ししますので、お帰りの際に受付までお立ち寄りください。また、受け取りの際に必要な CPDS 技術者証や運転免許証などの本人確認ができるもの（顔写真付き）をご持参いただきますようお願いいたします。	
オンラインにて参加される方は、CPD プログラムにおいて受講で得られた所見（学びや気づき）を 100 文字以上におまとめいただき、10 月 5 日（木）までに事務局宛へメールにて提出してください。 内容を確認後、受講証明書をお申込みいただいたメールアドレスへ返信いたします。	オンライン参加の方は、CPDS プログラムの認定は受けられませんのでご注意ください。 ※会場参加の方は、ユニット付与可能

※他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応いたしかねます。

※CPD 記録の登録および CPDS の学習履歴申請等は各自にて行ってください。

- 会場にて参加される方は、当日ご自宅での検温と会場受付で手指消毒のご協力をお願いいたします。なお、37.5℃以上の発熱のある方および体調不良の方は入場をお断りさせていただきます。

- 取材をご希望される場合は、下記内容を記述したメールを 9 月 15 日（金）までに事務局へ送付してください。（様式なし）

氏名（ふりがな）、報道機関名（所属記者クラブ）、連絡先（メールアドレス／電話番号）、参加形式（会場あるいはオンライン）

※取材の方の CPD および CPDS プログラムの単位等の付与はございませんのでご注意ください。

第 14 回 横浜技調技術交流会 参加申込書

開催日時：令和 5 年 9 月 28 日（木） 14 時 00 分～17 時 00 分（受付は 13 時 30 分より）

開催方法：対面とオンラインのハイブリッド形式（Microsoft Teams 配信による）

オンラインで参加される方には、招待 URL を発表日の前日までにメールにてお知らせします。

申込書：技術交流会への参加申込について、以下表へ必要事項を入力いただき、

9 月 15 日（金）までに事務局宛へメールにて送付いただきますようお願いいたします。

氏 名 (ふりがな)	所 属	参加 形式	CPD 申請	CPDS 申請
	連絡先（メールアドレス／電話番号）			
例：関東 太郎 (かんと う たろう)	会社名 所属課 〇〇@mlit.go.jp / 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	会場	○	○
例：港湾 花子 (こうわん はなこ)	会社名 所属課 〇〇@mlit.go.jp / 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	WEB	×	×

* 参加申込書の個人情報は、交流会当日の資料準備、連絡のみの利用とし、事務局が適正に管理いたします。

* 参加者多数で定員を大きく上回った場合は、こちらよりご連絡させていただきます。

* CPD および CPDS プログラムの留意点につきましては、「別紙 2」を参照ください。

【申込先】 右記メールアドレスまで送付ください。 cyousa-y83ab@mlit.go.jp

【事務局】 横浜港湾空港技術調査事務所 調査課

担当：原田 勉・新山 真利 / 電話：045-461-3893

交通のご案内および駐車場について



国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
住所：〒221-0053 神奈川県横浜市神奈川区橋本町 2-1-4
電話番号：045-461-3893
メールアドレス：cyouasa-y83ab@mlit.go.jp

- * JR 京浜東北線 東神奈川駅より徒歩 15 分
- * 京浜急行線 京急東神奈川駅より徒歩 15 分
- * 横浜駅東口バスターミナル 4 番乗り場より「48 系統 コットンハーバー経由 東神奈川駅・横浜駅行き (循環)」バスに乗車し約 15 分、「星野町公園前」または「コットンハーバー」バス停下車、徒歩約 2 分

▼注意事項▼

- ・ 事務所構内に駐車場（無料）はございますが、可能な限り公共交通機関等にてご来場いただけますようご協力をお願いいたします。
- ・ お車でのご来場の際は、9 月 15 日（金）までに事務局宛へメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。（車種、車体の色、車両ナンバーをお知らせください。／様式不問）